

## 今日のキーワード 良好だった「年末商戦」(米国)

米国では、11月下旬の感謝祭翌日から12月24日のクリスマス・イブまでの期間を「年末商戦」と呼びます。最近ではセールを開始日が前倒しされる一方、クリスマス後も年末までセールが実施されることから、11月と12月の2カ月間を「年末商戦」と呼ぶことも多いようです。小売業者にとっては、この期間だけで年間売上高の20%弱をあげる書き入れ時ですが、昨年の「年末商戦」は事前予想を上回る良好な結果となりました。

### ポイント1 2016年の「年末商戦」は良好

#### オンライン販売が引き続き好調

- 全米小売業協会 (NRF) によれば、2016年の「年末商戦」売上高は6,583億ドル、前年同期比+4.0%の増加となり、NRFによる事前予想の6,558億ドル、同+3.6%、昨年実績の同+3.2%を、ともに上回りました。
- 一方、商戦期間中のオンライン売上高は、NRFの事前予想である同+7%~+10%を上回る同+12.6%の1,229億ドルでした。
- 商品別にみると、家具が同+4.8%、建材・ガーデニングが同+4.5%、アパレルが同+2.5%、ヘルスケアが同+6.7%などとなっています。

### ポイント2 明るさを増す消費マインド

#### 雇用の着実な増加が支え

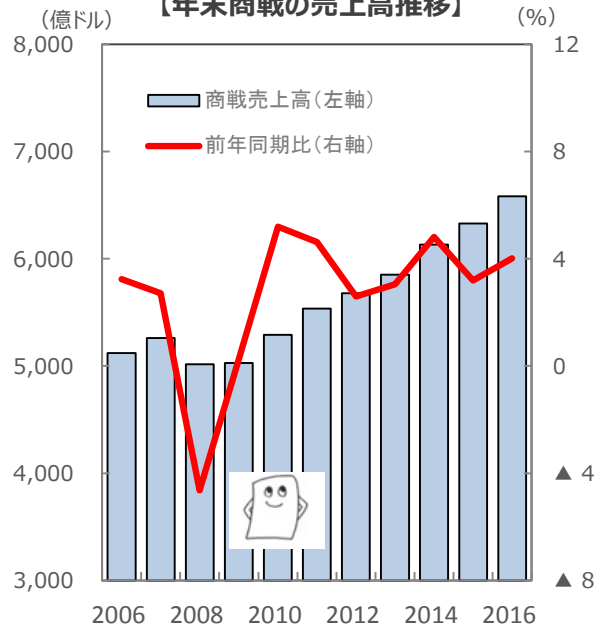
- NRFは、「景気拡大ペースの加速とともに、将来に対する消費者の自信が強まってきたことを示すもの」と述べています。
- 実際、米国の実質GDP成長率は16年1~3月期の前期比年率+0.8%から7~9月期の+3.5%へと期を追うに従ってペースを速め、雇用者数は月平均+17万人前後の割合で増加しています。

### 今後の展開 順調な拡大が続く見込み

- 良好な雇用・所得環境に加え、トランプ新政権の提唱する所得税減税の効果により、個人消費は今後も順調な拡大が予想されます。
- 個人消費、ひいては米国経済の持続的な成長を背景に、利上げの継続が見込まれます。ただし、ドル高等から物価上昇率が低い水準で落ち着いているため、利上げのペースは緩慢と考えられます。

ここも  
チェック! 2017年 1月10日 引き続き良好な米国の雇用統計 (2016年12月)  
2016年12月27日 2017年の米国経済及び株式・債券市場の見通し

【年末商戦の売上高推移】



(注1) データの期間は2006年~2016年。(年)  
(注2) 年末商戦の売上高は小売売上高(自動車、ガソリン、外食を除く)の11月と12月の合計。  
(出所) 米国商務省、NRFのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。